

令和 5 年度の活動状況

(1) 他団体との連携プロジェクト

① もりのねフェスの開催

せと野外保育所もりのねの主催により 5 月 20 日(土)と 12 月 16 日(土)の 2 度にわたって菱野団地中央広場及びひしのミナクルでミニフェスティバルが開催された。バランスボールや体育体験、紙芝居やマルシェなどを求めて多くの子育て世帯の来場があった。

開催に際してはみんなの会とも連携し、地域住民や商店街への周知を行った。



② 菱野マルシェの開催

市内外でイベントを開催している Sunny Side Mart とモビマル東海の共催によるステージショー&ハンドメイドマルシェが 11 月 10 日(土)に中央広場で開催された。聖霊学園チアリーディング部による演舞やキッズファッションショー、ミニコンサートなどが行われ、多くの来場があった。当日は近隣住民による防犯パトロールも実施され、ポイ捨てや事故を抑制することができた。

イベント後には子どもたちを中心としたゴミ拾いを行い、参加した子どもたちにお手伝いカード((3)⑤参照)を配布した。

③ 多文化共生セミナーの開催

9 月 30 日(土)に NPO 法人エムトゥエムによる多文化共生セミナーがひしのミナクルにて開催された。金城学院大学の朝倉美江教授の講演をはじめ、外国人住民が置かれている状況や具体的な事例報告などを通じて多文化共生について考えるきっかけとなった。

④ 団地サミットへの参加

8 月 1 日(火)に春日井市にて高蔵寺ニュータウン、菱野団地、保見団地からまちづくり関係者などが参加する第 1 回世界団地サミットが開催された。主催は、高蔵寺ニュータウンで団地再生に携わる Danchitects であり、菱野団地からもみんなの会や教育関係者、行政が参加した。各エリアの事例発表の他、建築家の山本理顕氏をゲストに招いたパネルディスカッションやリノベーション住宅を見学するまち歩きなどが催された。サミット終了後はグループふじとうで懇親会が催され、関係者同士の交流が図られた。



(2) 大学コンソーシアムせと新しい文化創造プロジェクト

①3 大学 5 研究室協働による菱野団地の地域活性化活動

これまで都市計画課と連携して活動拠点の家具制作や中央広場の整備イメージの作成などを行ってきた 3 大学 5 研究室の協働プロジェクトが今年度から大学コンソーシアムせとのプロジェクトとして始動した。菱野団地再生計画の基本方針に基づいて「みんなでつくる、住みよいまち菱野団地」を目指し、今年度は下記のプロジェクトを実施した。

協力大学

大学	学部	学科	研究室
名城大学	理工学部	建築学科	谷田真 研究室
		社会基盤デザイン工学科	鈴木温 研究室
南山大学	総合政策学部	総合政策学科	石川良文 研究室
愛知工業大学	工学部	建築学科	野澤英希 研究室
			益尾孝祐 研究室

(1) 学生シェアハウスワークショップ

9 月 3 日(日)より 3 回にわたり、愛工大益尾ゼミ・野澤ゼミを中心として八幡台にある 4 戸連住宅の 1 戸を学生シェアハウスとしてリノベーションするプロジェクトが進んでいる。建築学科以外の学生も協働してプランニングを行い、不動産会社や建築業者も一緒になった産学官連携の取り組みとなっている。2・3 月には学生も参加して工事をを行い、4 月に入居開始予定である。

日 時：第 1 回 9 月 3 日(日) 13 時～16 時 30 分 参加者数：24 名
第 2 回 10 月 1 日(日) 13 時～15 時 参加者数：33 名
第 3 回 11 月 19 日(日) 14 時～16 時 参加者数：31 名
内 容：第 1 回 対象住戸の見学、プランニング案の作成
第 2 回 プランニング案のプレゼンテーション、比較検討
第 3 回 改修プランの確認、DIY の検討

(2) 窓ぎわベンチワークショップ

10 月 1 日(日)の午前に名城大谷田ゼミを中心としてこれまでの活動の振り返りとひしのミナクルをより立ち入りやすく開いた場所にしていくためベンチの効用について考えるワークショップが開催された。30 人を超える学生が参加し、ベンチの効果やどのような仕掛けをつくらせると人が集う動機になるのかなどが話し合われた。

(3) 拠点整備ワークショップ

11 月 19 日(日)の午前に愛工大野澤ゼミを中心に拠点整備ワークショップが行われ、30 名程の学生が参加した。初めて会う学生同士も共同で作業し、壁や天井の塗装、拠点の家具制作や看板の塗り替えなどを行った。

② 居場所づくりにつながる多文化交流プロジェクト

愛工大の武田ゼミが国籍を超えた交流関係の構築に向けて多文化交流イベントを企画した。団地内の外国人が集まる場所に学生が顔を出して交流を深めながらイベントへの参加を呼びかけた。7 月に七夕行事の説明やお茶の文化を愉しむイベントを実施し、20 名程が参加した。夏まつり際にはサンバカーニバルを企画して多くの子ども達がセンター地区を練り歩いた。



(3) エリアマネジメント団体プロジェクト

① みんなの駄菓子屋

目的：安心して子育てでき、子どもや若者が健やかに育つ環境を構築する。
誰もが気軽に立ち寄り、多様な世代が交流できる居場所をつくる。
実施状況：昨年度より開店日を増やし、開業日の周知を行う事で、小中学生や家族連れ、高齢者など幅広い世代の来客が見られるようになった。
最近では駄菓子屋で顔を合わせた子ども同士が広場で一緒に遊ぶ姿もしばしば見られるようになった。
来場者数：約 11,900 名 (R5 年 1 月～12 月)



② みんなのだべりば (→せとらカフェ)

目的：相談事などを傾聴し、解決につなげる。専門知識が必要な相談には、専門家紹介などの懸け橋となる。
実施状況：コロナなどもあり活動が停滞していたが、今年度からは認知症カフェ (せとらカフェ) として椅子ヨガや折り紙教室、落語などを行った。
実施日：毎月第 3 水曜日の 10 時～12 時



③ 草刈って花咲かそプロジェクト

目的：みんなの会の自走に向けて継続可能な事業として運営費を創出する。
将来的には、草を刈った跡地に花を植え、「自分たちのまちの風景を育む」活動として、やりがいや生きがいを創出する。
実施状況：昨年度に引き続き、市からの受託業務として、菱野団地緑地帯の草刈り (夏・秋 2 回分で約 86 万円) を行った。



④ 多世代農園

目的：花壇整備等の活動を通じて多世代の交流を図る。
実施状況：菱野団地中央広場において花壇整備を行ったほか、「みんなの駄菓子屋」にて募金いただいた方へ花壇で栽培した種の配布等を行った。



⑤ みんなの会お手伝いカード

目的：楽しみながらみんなの会の活動を手伝うことによって子どもの社会貢献や地域愛の醸成、次世代のまちづくりの担い手育成を図る。
実施状況：イベント後のゴミ拾いや日常の清掃などでスタンプを押印し、活動に関わる子どもたちを順調に増やしている。



⑥ わいわいフェスティバル

目的：団地内外の交流を図るとともに、みんなの会の活動周知、団地の課題解決に向けた情報収集を行う。
実施状況：本年度は春・夏の計 2 回実施し、にぎわいの創出を図った。またイベントの際にみんなの会の PR 活動 (活動内容の展示、アンケート調査の実施) を行い、啓発に努めた。

■春のわいわいフェスティバル

【日時】5 月 27 日 (土) 10 時～15 時
【来場者】約 800 人

■わいわい夏まつり

【日時】8 月 26 日 (土) 11 時～20 時
【来場者】約 1,200 人



⑦ 視察対応

名古屋学院大学…まち歩きを行い、菱野団地の魅力や団地が抱える課題について現状を把握した。
その他広島県廿日市市や静岡県沼津市、兵庫県相生市、愛知県愛西市、国土交通省住宅局・中部地整の視察対応を行ったほか、5 月に奈良県奈良市で開催された住宅市街地整備推進協議会全国会議にて事例発表を行った。

⑧ アンケートの実施

わいわい夏まつりにて、みんなの会の活動周知や菱野団地の満足度、居住意向などについてアンケート調査を行った。また、再生計画の効果測定のため地域住民へのアンケート調査を実施した。(令和 5 年 12 月)
集計数：118 名 (夏まつりアンケート「参考資料①」)、128 名 (住民アンケート「参考資料②」)

⑩ プロモーションの実施

目的：団地再生の基本方針の一つとしている「若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり」を推進する。
実施状況：令和元年度に作成した菱野団地 HP のほか、Facebook 及び Instagram を活用して、みんなの会の活動情報等の発信を行っている。また、広報せと 8 月号にて見開きで活動紹介を行った。

⑪ 運営資金の創出

運営資金創出のため、前述した草刈り③の他、大和証券福祉財団のボランティア活動助成に応募し採択された。高齢者の生涯学習や子ども対象のワークショップ用にパソコンやプロジェクター等を購入し、Wi-Fi 環境を整えた。

⑫ 光の切り絵 ～菱野団地ひかりの春まつり

3 月 2 日 (土)、3 日 (日) にセンター地区において瀬戸信用金庫地域振興協力基金を活用し商店街や郵便局と連携して開催予定である。また、当日展示する子どもたちの作品づくりワークショップを事業者 (もりのね、ニコニコ企画) や南山大学石川ゼミの学生と協力して行った。



⑬ こどもサミット

令和 8 年の学校の統合に向けて子どもたちが事前に知り合って仲良くなり、やがては地域の担い手となっていくことを目指し、3 月 20 日 (水・祝) に第 1 回目を開催予定である。

(4) 住民バスプロジェクト

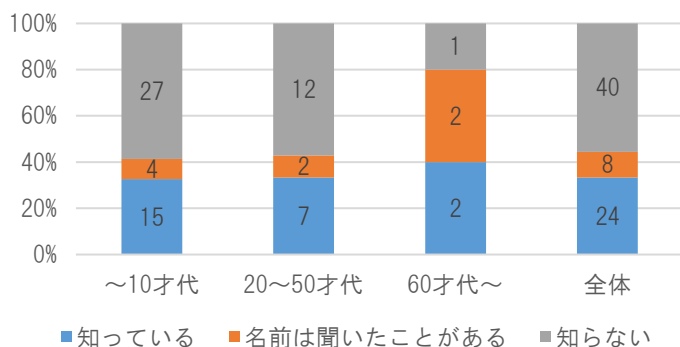
住民バスの運行

目的：団地内の生活交通を確保するとともに、団地外との交流を促進する。
実施状況：名鉄バス等と乗り継ぎができる住民バスを運行 (年末年始を除く平日) し、まち歩き等のイベント時には臨時運行も行った。現状は順調に機能しており、住民バスを目的とした視察も多く受けている。なお、運転手の高齢化が課題となっており、持続可能な運行のため広報や地元回覧等で運転手の募集を行っている。新たに 1 名の運転手の確保ができたが、引き続き運転手の募集を継続していく。

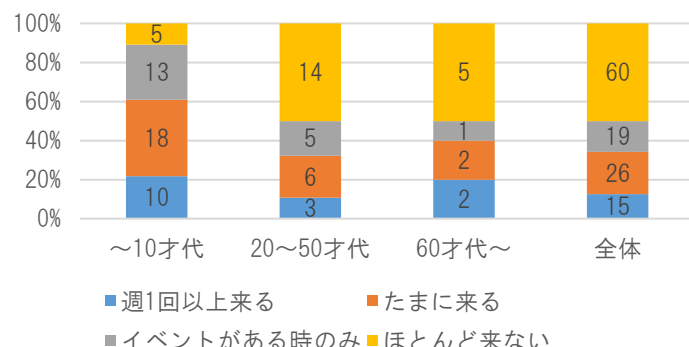
4 月～12 月末 運行実績
運航日数：186 日
運行便数：1,847 便
利用者数：14,433 人
1 便平均：7.8 人
(前年平均：8.4 人)
※運転手除く定員 9 名

夏まつりアンケート（令和5年8月26日実施、団地住民の回答のみ抜粋）

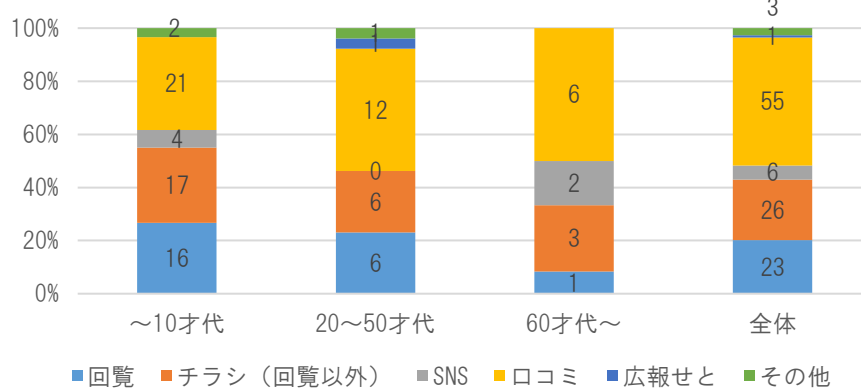
みんなの会の認知度（n=72）



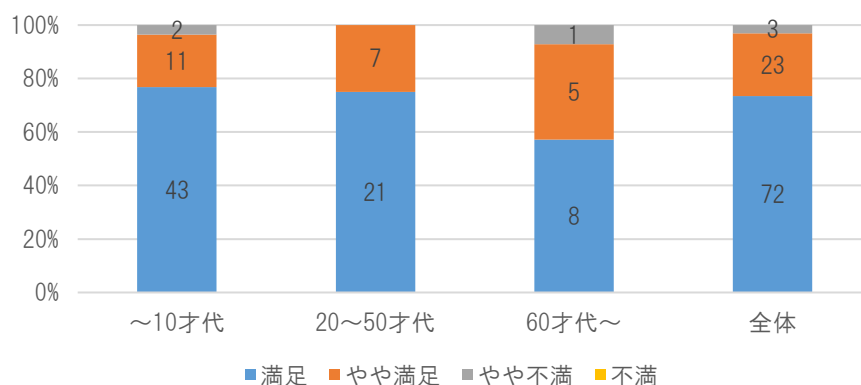
中央広場に来る頻度（n=84）



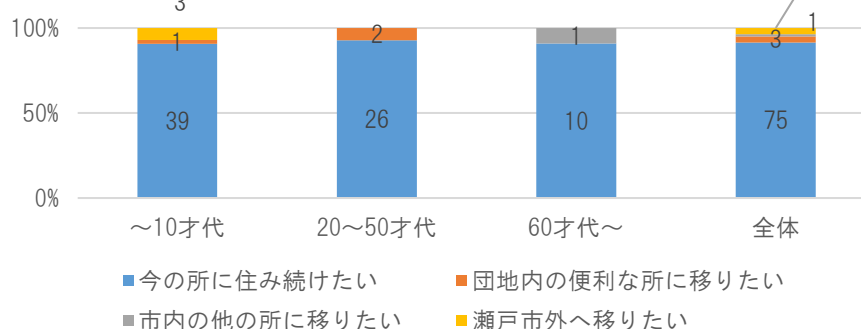
夏まつりをどうやって知ったか（n=114）



菱野団地の満足度（n=98）

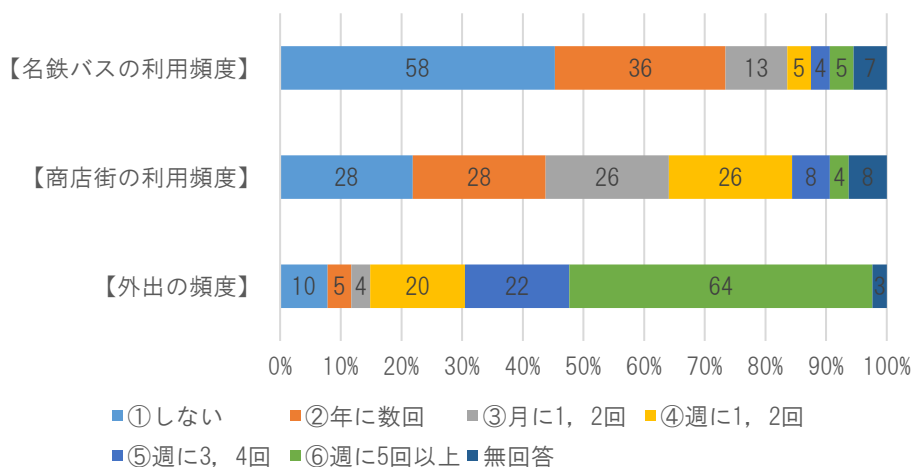


菱野団地の居住意向（n=82）

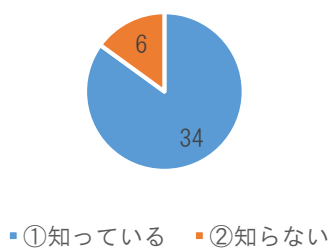


住民アンケート（令和5年12月実施）

外出の頻度・利用状況（n=128）



住民バスの認知度（n=40）



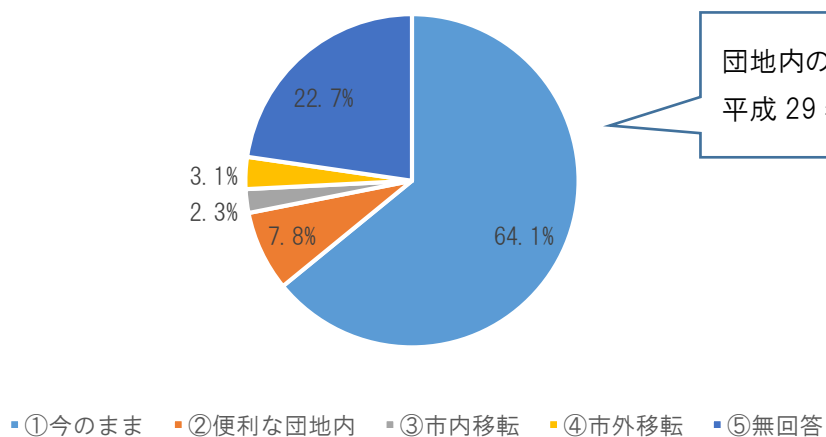
住民バスの利用頻度（n=125）



利用目的は

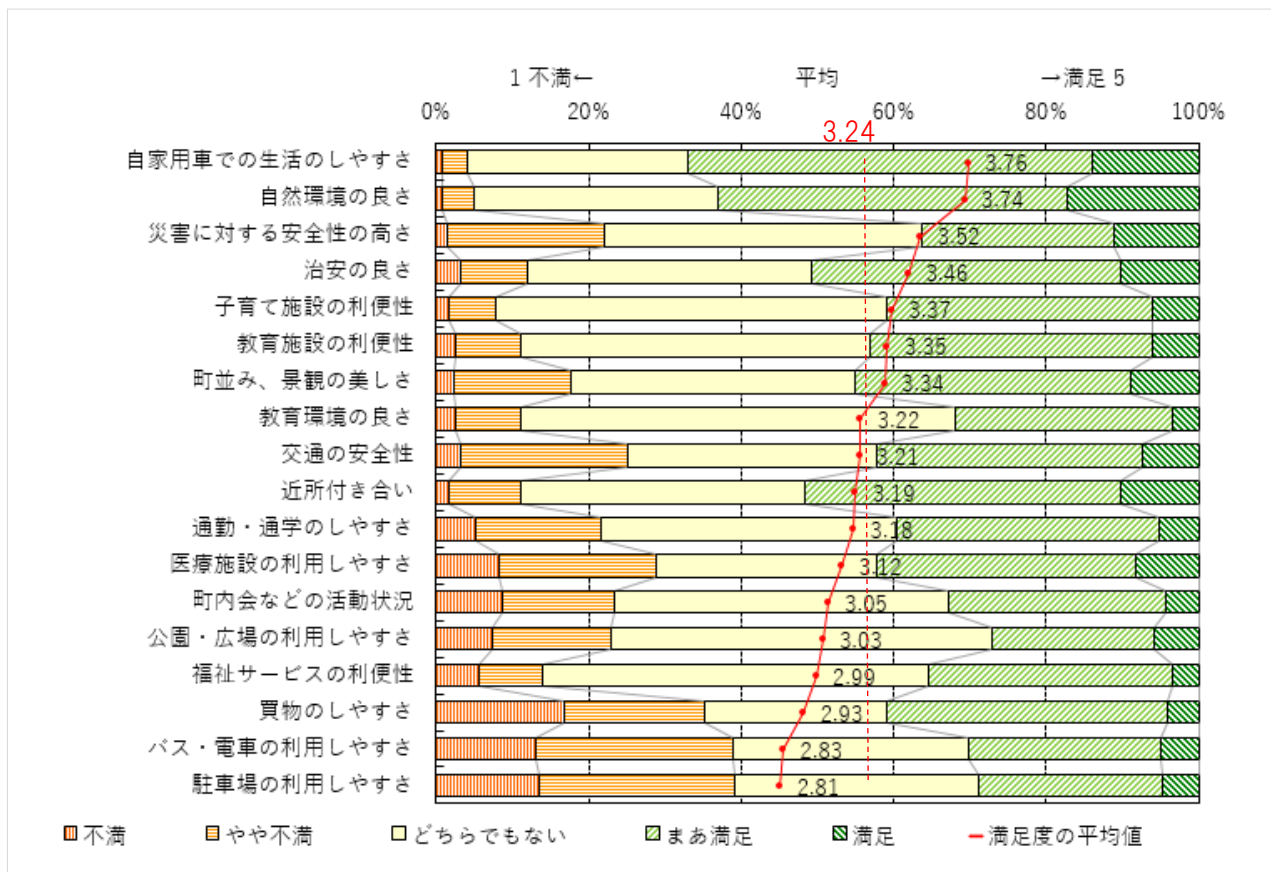
- ①買物(8人)
- ②通院・デイケア(3人)
- 公的機関への用事(3人)
- ③趣味・娯楽(1人)

団地の居留意向（n=128）

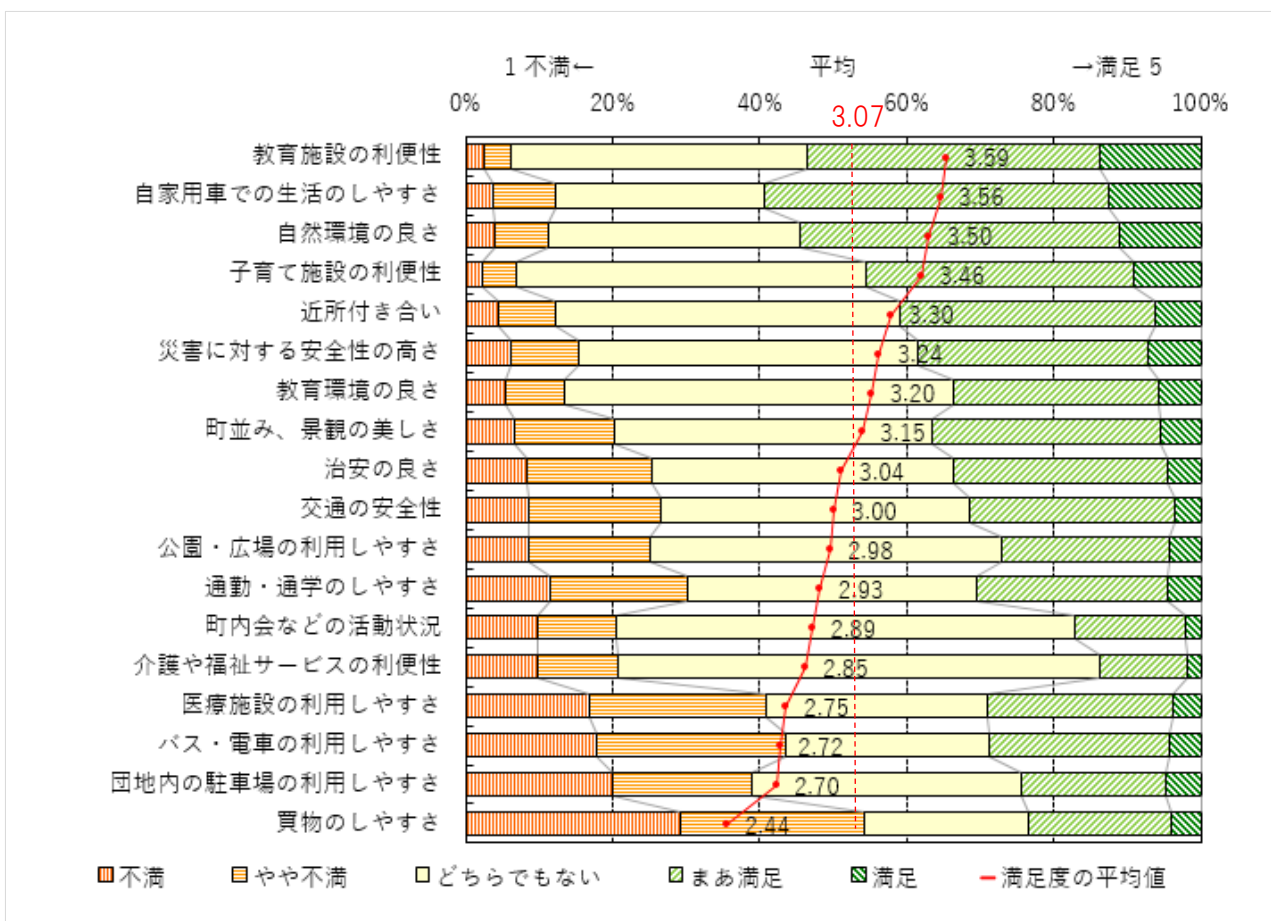


団地内の居留意向は 71.9%
平成 29 年時には 56.8%

今回(満足度の平均値 3.24 ポイント)



平成 29 年(満足度の平均値 3.07 ポイント)



いま、 菱野団地がおもしろい。



菱野団地*は、建築家の黒川紀章氏が設計した市内最大規模の住宅団地。開発から50年が経過した現在、住民の高齢化や施設の老朽化・空洞化が進んでいます。そこに待ったをかけるのが「未来の菱野団地をみんなで作る会(通称:みんなの会)」。

☎ 都市計画課 ☎ 88-2680



*菱野団地とは原山台、萩山台、菱野台、八幡台の4つの区域のこと

おすすめ情報

わいわい夏祭り

日時 8月26日(土)
午前11時～午後7時30分
場所 菱野団地中央広場
内容 盆踊り、金魚すくい、キッチンカーなど
※詳細は、菱野団地ホームページ、みんなの会のSNSで確認を



光の切り絵in菱野団地

日程 令和6年3月2日(土)・3日(日)
出演 光の切り絵作家 酒井 敦美氏
※子どもたちのワークショップ、協賛企業・ボランティアスタッフを募集予定。ホームページ、SNSでお知らせします。



菱野団地には飲食店や食料品店、生活用品店はもちろん、様々な店が集まっています。

【菱野団地の施設を利用する方へのお願い】
住宅団地のため、騒音や路上駐車をしないなど住民に配慮し、ルールとマナーを守ってご利用ください。

「みんなで作る、住みよいまち菱野団地」

みんなの会は、誰もが住み続けたい・住みたくなる快適なまちを目指し、活動拠点の運営やイベント企画、地域の草刈りや花壇の整備などの活動をボランティアで行っています。

ひしのミナクル —みんなの会の活動拠点—

みんなの会が運営するスペース。駄菓子屋やキッズスペース、トイレなどあり、団地住民以外も利用できます。また、ワークショップや寄席などのイベントも不定期に開催されます。

営業時間 月・火・木・金曜:午後3時～6時
水・土曜:午前10時～午後6時
場所 菱野団地中央広場東側



小学生以下は
ぬり絵の提出で
おかしをプレゼント



みんなの会 井上さん

「小さなにぎわいが大きな笑顔につながると思い、花壇の世話などを始めました。地域の子も手伝ってくれており、こうした関わりや、「ひしのミナクルで駄菓子を買った」などの体験が子ども達の原風景の一つになればいいなと思っています」

インタビュー
interview



菱野団地商店街
自治会長 宮地さん

インタビュー
interview

「ミナクルの駄菓子屋に通うために、商店街を通る子どもが増えたなと思います。自分も、昨年2月にこの商店街でたこ焼き屋を始めたばかりですが、子ども達が過ごしやすい地域になったらいいなと思います。様々なイベントや活動をしているところです。年齢や国籍、障害の有無などに関わらず団地住民はもちろん、住民以外もにぎわうグローバルな地域にしていきたいですね」

菱野団地
ホームページ



みんなの会
Facebook



みんなの会
Instagram



緊急募集

菱野団地住民バス運転手募集

活動日時 月～金曜(午前8時30分～午後4時30分)のうち週2日程度
謝礼 1日4,000円程度
車種 10人乗りワンボックスカー(AT車)
※団地以外の方も申込可
詳しくは事務局(☎090・1286・4998)へ



やりがいがあります

地域住民の
足になる

光の切り絵

～菱野団地 ひかりの春まつり

2024年 3/2 (土) - 3/3 (日)

17:30 ~ 20:00 (荒天時中止)



菱野団地に光の切り絵作家—酒井敦美さんによる
幻想的な光の世界が現れます。
こどもたちがつくったあかりアートも並ぶ楽しい夜の商店街
どうぞお楽しみください！



会場：菱野団地センター地区
入場：無料



↑光の切り絵ウェブサイトのQRコード

光の切り絵作家
酒井敦美

★愛知県生まれ、在住。

独学で絵を描き続け、舞台美術としてのOHPを使った
切り絵制作が礎となる。

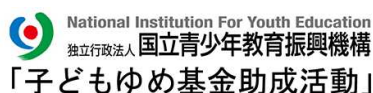
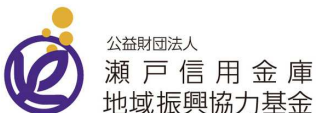
”切り絵”を光で透かして表現する、オリジナル画風を
「光の切り絵」と名付け、制作・発表を続けている。



できる限り公共交通機関での来場をお願いします。
詳しくは裏面をご参照ください。

主催：未来の菱野団地をみんなで作る会

協力：菱野団地商店街振興組合、瀬戸市内郵便局、愛知県住宅供給公社、瀬戸市



問合せ先

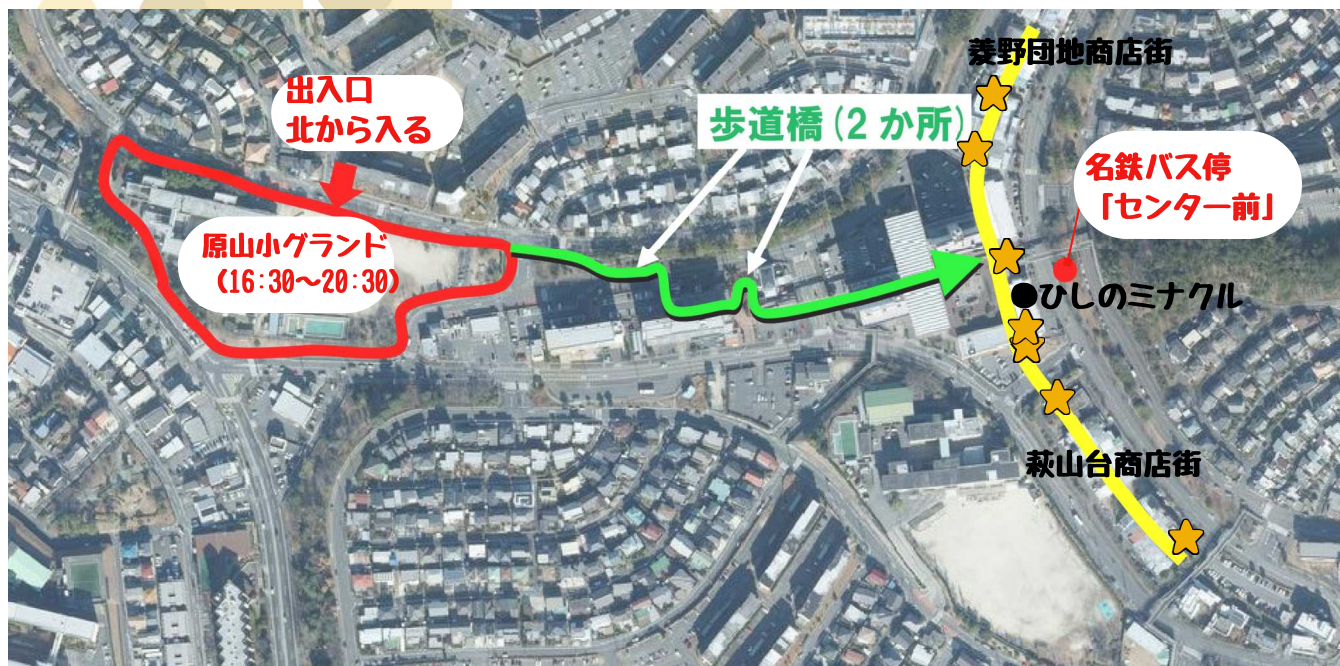


050-5471-7950 (前嶋)

hishinokirie0603@gmail.com

会場アクセス

会場は黄色の部分（光の切り絵は ☆ ）



できる限り公共交通機関での来場をお願いします。名鉄バス停「センター前」が近いです。

『尾張瀬戸駅』北東バスロータリー1番のりば 名鉄バス「瀬戸駅前」発 → 「センター前」下車
(毎時5分、35分発、乗車時間11分、280円)

駐車場は原山小学校（瀬戸市原山台3丁目98）のグランドです。台数に限りがあります。

グランド北側が出入口です。（使用可能時間16:30～20:30、雨天時使用不可）

駐車場からは緑のルートでひしのミナクルに向かってください。

～イベント開催にあたりご協力いただいた皆様（敬称略、順不同）～

菱野団地商店街振興組合
株式会社 福丸（新鮮市場いせや）
株式会社 暁デザイン事務所
Hotto Motto 瀬戸赤重店
TRY studio
irodori
かくりよ
中日新聞 北西新聞店
白洋舎
Sunny cafe
ハナデン
マリモ
First Bell
talo-K
わたり工房
ブラジル料理 シュラスキキ
せと野外保育所もりのね
南山大学石川ゼミ

瀬戸信用金庫 菱野支店
野田内科小児科医院
まるはち（八幡台 子供達を楽しませる会）
有限会社 サンクス
SUIYO
Cafe & Bar 骨壺の母
カラオケ 辰美
福祉用具セレクトショップ りんりん
わくわく交差点 ひし野
くつろぎ居酒屋 花
M・N商会
Brave Courage
アーサー・マレー大高ダンススクール
Art Space & Cafe Barrack
ますきち
竹岡淳
ニコニコ企画
一般財団法人 東海地方郵便局長協会

その他大勢の皆様から多大なご支援をいただきました。ありがとうございました！

【令和5年度活動内容・令和6年度活動計画】

活動内容		令和5年度活動状況		令和6年度活動計画		
活動名称 (プロジェクト)	内容	評価	活動状況と課題	活動計画内容		
菱野団地のまちづくり (ハード面)	エリアマネジメント団体として菱野団地のまちづくりについて話し合い、意見をまとめる。	×	【活動】中央広場の整備や使用状況に関し、意見交換会を開催し参加住民で意見を出しあい、行政との調整を図ることができた。 【課題】3台の代表で数回集まったが、再開した自治活動との両立が難しく、今後に向けたビジョンの形成ができなかった。	継続強化	・3台の連携強化・ビジョンの形成 ・関係機関(市・県・公社)への働きかけと連携強化	
他団体との連携	他団体との協力や連携により人材交流や視野の拡大を図るとともに活動の周知や関係人口を増加させる。	○	【活動】菱野団地商店街と連携した夏祭りや、もりのね(保育園)と連携したイベント開催を行った。 【課題】人材交流、関係人口の増加(仲間づくり)には至らなかった。	継続強化	・商店街との協働企画の推進 ・学校やPTA、子どもを対象にした団体等との連携強化	
多文化共生	多様な文化や生活の違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に生活できる地域づくりを推進する。	△	【活動】多文化共生フォーラムや大学コンソーシアムを通じた連携イベントを開催した。 【課題】みんなの会としては場所の提供にとどまった。	継続強化	・多文化共生に取り組む主体との連携 ・子どもを中心とした多文化共生の取り組み	
拠点利用・運用	駄菓子屋	にぎわいの創出や居場所づくりのため多様な世代が訪れる動機となる駄菓子屋を運営・管理する。	◎	【活動】活動拠点において駄菓子を販売し、多様な世代が交流できる場づくりが行えた。	継続	・多世代交流 ・担い手の育成
	拠点活用	拠点を活用し、自走に向けた維持管理や運営体制を構築する。	△	【活動】落語、せとらカフェ、大学コンソーシアム等で活用した。 【課題】使用協力金等、運営体制の強化が必要。	継続	・運営体制の強化 ・運営日の検討
	拠点整備	拠点の利便性や安全性を向上させるため環境整備を行う。	○	【活動】電子錠、Wi-Fi設置を設置し利便性を上げた。大学生との協働により家具等の製作、壁や天井の塗装など環境整備を実施できた。	継続	大学コンソーシアムと連携した拠点・広場整備(ベンチなど)
	イベント	中央広場や拠点を活用し、にぎわいの創出、団地内外の交流や活動の周知を目的としたイベントを開催する。	◎	【活動】5月(春のマルシェ)、8月(夏まつり)の他、他団体と連携してイベントを開催し住民同士の交流やにぎわいづくりを行った。	継続	・自主開催+連携イベント(3~4回) ・子どもを主体としたイベントの開催
人材確保	仲間づくり	活動の維持・拡大のため活動に参加する人材を募集する。	△	【活動】人員募集のチラシを作成するほか、イベント時にアンケート調査や活動の周知を図った。 【課題】実際の人材確保にはつながらなかった。	継続強化	・幅広く活動に興味をもつ仲間を集める。 ・関係人口を増やす
	大学コンソーシアムとの連携	大学コンソーシアムと協力しながら菱野団地再生計画を推進する。	◎	【活動】学生シェアハウスの取り組みや多文化共生のイベントなどを大学と連携して実施した。	継続強化	・学生シェアハウスの始動 ・学生の主体的な関わり方の仕組みづくり
広報	情報発信	活動の周知や利用者の増加、協力者の確保のためSNSや印刷物を通じて広報活動を行う。	△	【活動】Google Maps情報の更新やSNS等での告知のほか、広報せと8月号見開きでの活動紹介を行った。 【課題】人材不足のためFacebook、Instagram等の発信が十分に行えなかった。	継続	・効果的な発信方法の模索 ・的確なタイミングでの情報発信
運営	収益事業	みんなの会の資金確保となる収益事業を考える。(助成金・補助金・寄付金等含む)	×	【活動】大和証券ボランティア活動助成金を受託。KIRIN福祉財団の助成金を申請した。 【課題】自走するレベルの収益確保が必要である。	継続強化	・助成金以外の収益事業(施設利用料徴収、指定管理等)の検討
環境整備	草刈って花咲かそ	市から委託された団地内の草刈り事業を小規模の区画で実施する。	○	【活動】年2回(夏・秋)に菱野団地緑地帯の草刈りを実施。 【課題】自治会活動との両立が難しく人材の確保が望まれる。	継続	・参加者の増加 ・活動の周知
	多世代農園	花壇整備(植える、収穫する)等を実施する。	○	《TEAMふれあいば(多世代農園)》 【活動】中央広場の花壇を整備した。	継続	・参加者の増加 ・活動の周知
子どもコラボ	子どもお手伝い事業	子どもが自発的に社会活動に参加できる仕組みと将来の担い手の確保・育成を図る。	○	【活動】お手伝いカードを作成し、イベント後のゴミ拾いや普段の掃除、落ち葉集めに参加した子ども達に配布し活用した。	継続	・地域の担い手の育成 ・参加者の増加 ・ボランティア内容の拡大
	子ども主体イベント	小学校統合に向けて地域と子どもが課題解決に向け一緒に取り組む仕組みづくりを推進する。	—	【活動予定】学校と連携し、第1回こどもサミットを3月20日開催予定。	継続強化	・第2回こどもサミット ・小学校見学 ・まち歩き・魅力探し ・子ども主体フェスティバル開催

まとめ

【活動報告】

令和5年度は、上記表の活動名称（プロジェクト）ごとにロードマップを作成し、KPIを設定した上で活動を行うこととしていた。活動によってはコロナ明けで再開された自治会活動が優先され、人材不足によりみんなの会として思うように進められない内容もあったが、一方で近隣住民（菱野住宅）、郵便局、商店街からの協力が得られ、前年度にはなかった新たな関係団体との連携体制の構築が図られた。また大学コンソーシアムとも多くの連携が図れた。3月にはそれらの団体の協力得ながら、光のイベントと一緒に実施する予定である。

【課題と対策】

1. 資金不足

市の委託である草刈り事業の収益、助成金は得られたが、活動財源確保にはいたっていない。現在は市や公社に補助をいただいている家賃や光熱費が近い将来、大きな負担となる。

拠点利用料の徴収、イベント収益の増加等、引き続き改善努力はしていくが、安定した活動財源確保まではハードルの高い課題である。

2. 人材不足

活動を担う人材が著しく不足しており、現在活動している会員にかかる負担が大きい。人材不足は直近の課題であり、みんなの会としても多方面から人材確保に努めてはいるが、まずは3台自治会、地域住民に協力を呼び掛け、そこから人材を確保する必要がある。

3. 周知不足

みんなの会の周知が十分ではない。存在は知られていても活動目的までは理解されていない。みんなの会の目的を再度明確にし、住民に対し説明会を開催する。また活動の情報を発信することで地域ブランドの確立を狙う。

【令和6年 主な活動計画】

令和8年4月の小中一貫校の開設に向けて子ども・保護者・地域が交流を図れるような仕組みづくりなど、子どもたちを核とした事業を重点的に進めていき、コミュニティを活性化させ、魅力ある街づくりを目指す。

具体的には子どもサミット、小学校見学会、まち歩き・魅力探し、子ども自らが参画する子ども主体のフェスティバルを開催予定である。

再生計画のプロジェクト進捗予定 ～ 再生に向けた中・長期計画の取り組み予定 ～

基本方針	取組方針	主体	短期	中期 (R4年度～R7年度)	長期 (R8年度～R10年度)	～	令和5年度の実施予定内容	令和5年度の実施状況	令和6年度の実施内容 (予定)
①センター地区を活用した交流拠点づくり	高層住宅や県営住宅の居住機能や商業機能の再配置を検討し、センター機能の強化やアクセスの改善を図ります。	公社 市 再生協議会	② センター機能の強化やアクセスの改善 現況調査、課題整理	民間活力の導入検討	取組みの実施	…	・センター機能の強化に向け、公社や商店街事業者と連携を図り、課題を抽出・整理する。	・商店街事業者と連携を図り、現状の課題（駐車場不足・草刈りなど）を抽出した。	・センター機能の強化に向けて公社と情報共有や意見交換を行う。
②安全・安心に暮らせる環境づくり	1 道路や宅地の状況を考慮し、外周道路や主要道路における駐車環境の改善を図ります。	公社・市 再生協議会 事業者（県）	③ 駐車環境の改善 現況調査、課題整理	改善策の検討	改善の実施	…	・不足している駐車場の確保等改善に向け、現況調査、改善策の検討を行う。	・団地内の駐車場利用の現状を把握予定である。	・自治会と連携し、特定エリアでの駐車状況を調査する。
	2 誰もが安全に移動できるよう、回廊式の歩道橋などの整備・修繕を進めます。	市 再生協議会	④ 回廊式の歩道橋などの整備・修繕 現況調査、課題整理	整備・修繕手法の検討	整備・修繕の実施	…	・地域住民や学生と連携し、センター地区へのアクセスを確保するため歩道橋などの現況調査を行う。	・道路管理者による歩道橋点検を実施した。 (今年度中に結果がまとまる予定)	・地域住民や学生と連携し、センター地区へのアクセスルートの現況調査を行う。
	3 夜間における歩行者の安全確保や地域の防犯性向上を図るため、防犯灯などの施設整備を進めます。	市 自治会 再生協議会	⑤ 防犯灯などの施設整備 現況調査、課題整理	整備手法の検討	整備の実施	…	・自治会や商店街と連携し、防犯灯の現況調査や危険個所の抽出を行う。	・未実施	・自治会や商店街と連携し、防犯上の危険個所を抽出する。
	4 緑豊かな環境を維持するため、緑地の適正な保全・活用や、良好な景観づくりを推進します。	市 エリマネ団体 自治会 再生協議会	⑥ 緑地などの環境整備活用・景観形成 現況調査、課題整理	取組みの検討	取組みの実施	…	・良好な景観づくり推進に向け、エリマネ団体や自治会と連携し、草刈りや花の植栽等の環境整備を進める。	・エリマネ団体や自治会と連携し、草刈り等の環境整備を進めた。	・エリマネ団体や自治会と連携し、草刈りや花の植栽等の環境整備を進める。
③若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり	子どもが安心してのびのびと学び、遊ぶことができるよう、都市施設の再整備を進めます。	市 再生協議会 事業者（県） 公社	⑦ 小中一貫教育 課題整理	取組みの実施	…	・子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を実現するため、公立学校の適正規模・適正配置を進める。	・分離型小中一貫校の開校に向けて学校やPTAIに説明を行った。	・分離型小中一貫校の開校に向けて学校や地域と連携し、課題の抽出や整理を進める。	
④高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	基幹バスやタクシーなどの利便性向上を図るため、住民・交通事業者・行政が三位一体となり公共交通の維持・活性化を図ります。	市・再生協議会 交通事業者 運行協議会	⑧ 公共交通の維持・活性化 課題整理	改善策の検討・実施	…	・住民・交通事業者・行政が協力して公共交通の維持・活性化に向けた課題を整理する。	・住民バスの運転手確保のため広報せとや回覧等で呼びかけた。	・安定した運行に向けて運転手の確保・課題の解決に努める。	
			⑨ グローバルリーダーの発掘と育成 課題整理	取組みの実施	…	・地域で行われている多文化共生の取り組みなどの現状を確認しキーパーソンを見つける。	・多文化共生セミナーや交流イベントを開催した。	・地域内での取り組みを確認しキーパーソンを見つける。	

市長施政方針を踏まえた重点政策「教育（菱野団地小中一貫校整備）」の展開について

教育部

1 本市において暮らしの基本となる4要素「住む」「働く」「学ぶ」「育む」の充実

(1) 市長施政方針を踏まえた政策展開を図る必要がある

- 令和5年6月瀬戸市議会定例会での市長の施政方針説明において、現行の総合計画を継承すること、暮らしの中心である4要素（住む／働く／学ぶ／育む）が充実したまちを目指すことが示された。
- 将来像の実現・都市像の達成を見据えつつ、住む／働く／学ぶ／育むといった環境のさらなる充実に資する政策展開を図る必要がある。

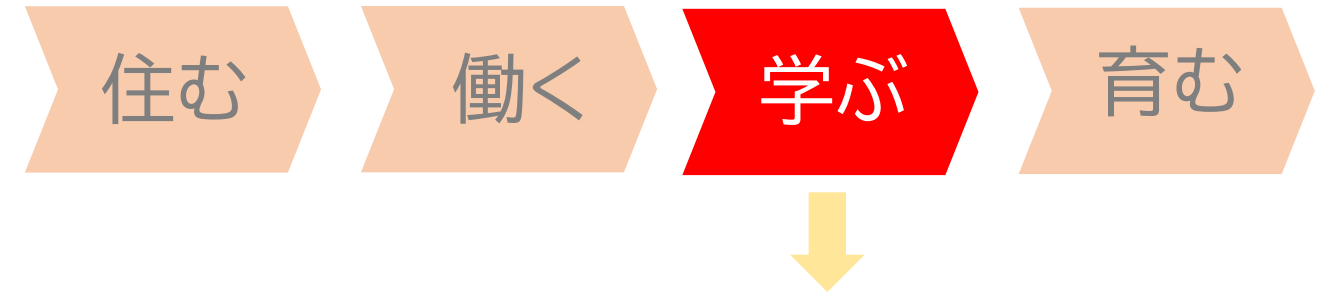
(2) 将来像の実現・都市像の達成に向けて着実に歩みを進めることができている

- 第6次瀬戸市総合計画の策定から6年が経過し、令和3年度からは、①自己評価、②内部評価、③外部評価、④政策議論と、政策レベルでの進行管理を実施することで、将来像の実現・都市像の達成に向け、分野・組織横断的に、政策のより効果的な推進に取り組んでいる。
- 平成29年度以降人口の社会増の状況が安定して続いている、人口の実績値が目標とする将来人口推計値に届いている、令和4年度に実施した市民アンケート調査において、住みやすさ／住み続けたい意向／まちへの愛着といった各指標が高い水準で維持・向上しているなど、将来像の実現・都市像の達成に向けて、着実に歩みを進めることができている。

(3) 次期総合計画策定を見据えていく必要がある

- 現行の総合計画の計画期間は令和8年度までであり、令和6年度からは、現行計画の総括や次期計画策定に関する検討を始めていく必要がある。
- 現行計画の総括、次期計画策定を見据え、計画期間中に実施する施策・事業、政策展開の方向性についても確認・整理していく必要がある。

【暮らしの基本となる4要素】

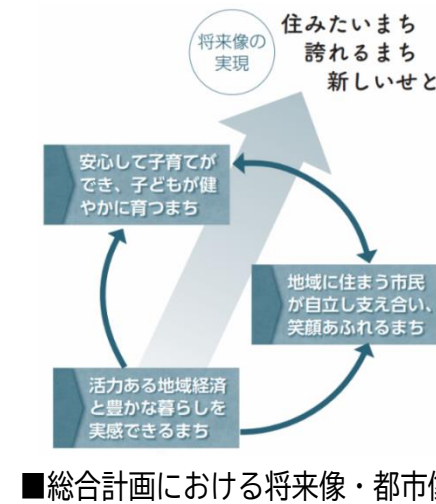


●「まちづくりは人づくり」=重点政策：“教育”の位置づけ

- 将来の予測が困難な時代において、子どもたちが未来に向けて、持続可能な社会の担い手になっていくためには、「自ら考え、学び、生き抜く力」を身につける。
- そのため、全市的に小中一貫教育を推進し、協働型課題解決能力の育成や郷土愛の醸成を目指す。
- また、不登校など子どもたちの多様なニーズに応じたきめ細やかな教育を進め、瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現に取り組んでいく。

■第2次瀬戸市教育アクションプランにおける三つの基本理念

瀬戸のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」
 瀬戸のすべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」
 瀬戸のすべての市民が「瀬戸で生きてよかった」



■総合計画における将来像・都市像

着実な将来像実現・都市像達成に向けた視点

- 都市像達成に向けた政策の推進
 - ・市民アンケート結果等を踏まえた事業の実施
 - ・住む／働く／学ぶ／育む 環境の充実
- 地方創生の推進
 - ・まちへの愛着の醸成と認知度の向上
 - ・将来を担う若い世代の確保（社会増と出生率改善）

社会情勢等を踏まえた視点

- 持続可能なまちづくりの推進（SDGs達成への貢献）
 - ・地域課題の統合的解決（環境・経済・社会の統合的向上）の推進
 - ・市民主体のまちづくり、地域課題解決の加速化
- 国の方向性に沿った瀬戸らしい取組の推進
 - ・デジタルトランスフォーメーションの推進
 - ・カーボンニュートラル実現に向けた取組の推進

施策の効果的・効率的な推進に向けた視点

- 市民満足度の向上と効果・効率の追求
 - ・行政改革の推進
- 公共施設等の総合管理の着実な推進
 - ・維持管理に係る必要経費の縮減とサービス水準の維持
 - ・施設の機能集約及び適正配置の推進

暮らしの4要素の充実

将来像の実現・都市像の達成

次期総合計画の策定

■中期事業計画（令和6年度実施計画）の策定方針

●菱野団地小中一貫校整備

“菱野団地における学校再編”を本市の重点事業と位置づけることにより、「教育環境の充実」→「子育て世帯の転入」→「社会増」→「将来像の実現」を目指す。



基本コンセプト

児童生徒のアンケート結果をとりまとめて、基本コンセプトを定めました。

子ども一人ひとりの多様な幸せ（Well-being）を中心に、
誰一人取り残されない、多様な学び合いの創造
～地域とともに歩む“未来志向”の学び舎～

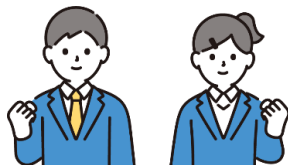
■思い切り体を動かせる学校

運動や遊びを通して、体を動かすことの楽しさや面白さを感じるとともに、友達や仲間と多様な人間関係を築いていくことができる学校

■明日また来たいと思える学校

学校外の諸機関等（専門家、福祉機関、行政、NPO、大学、企業）と連携・協働し、子どもたちが誰一人取り残されない、ゆとりと温かみのある、ほっとする学校

ひしの こども まんなかスクール
子どもたちの笑顔と幸せを活動の中心にし、
その活躍を積極的に支え、伸ばします



■ひとりひとりが輝ける学校

キャリア教育を軸に、様々な人たちと交流しながら、自己の課題に挑戦し、未来を切り拓く力を養い伸ばしていく学校

■誰とでも仲良くできる学校

年齢・性別・障害・国籍といった多様性や自他のよさを認め合い、お互いに支えあいながらそれぞれのよさが発揮できる、共生社会の実現を目指す学校

9年間の連続性・系統性を意識し、
統合した小学校、光陵中学校、特別支援学校が連携して取り組みます。

新小学校（現・八幡小学校）の施設整備イメージ（予定）

現況

整備後

① 校舎の長寿命化改良工事の実施
② 体育館の新設（空調設備・地域防災拠点・地域開放）
③ 複合遊具の設置
④ 駐車場の増設（校舎北側・体育館周辺）
⑤ 北側登校用出入口及び東側車両出入口の整備

令和8年度開校時

学年	児童数	クラス数
1年生	54	2
2年生	83	3
3年生	71	3
4年生	98	3
5年生	92	3
6年生	78	3
合計	476	17

教育内容の充実（予定）

新小学校と光陵中学校を、施設分離型小中一貫校における教育モデルとしていきます。

施設分離型小中一貫校

新小学校
(現・八幡小学校)

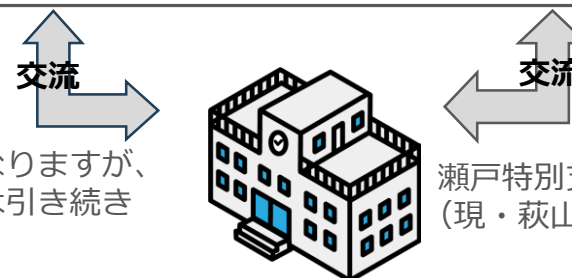


小中一貫教育を通じて、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図りながら、児童生徒の「協働型課題解決能力の育成」と「郷土愛の醸成」を目指します。

光陵中学校



- 小学生からの専科教育・担任による交換授業・中学校教員による乗り入れ授業
体育館や中学校プールを利用した、中学校教員による小学生への専門的な保健体育指導や理科・外国語（英語）・算数など可能な教科での専科指導を行います。
- 特別な教育課程による「独自教科」（新たな教科）
地域に根差した探究的な学習等を通じて、主体的に考え、行動する児童生徒を育成します。
- 小中一貫キャリア教育
9年間をかけてキャリア教育に取り組むことで、将来の生き方や在り方を考え、それを実生活に活かしていく児童生徒を育成することを目指します。



同一校舎ではなくなりますが、小中学校との交流は引き続き行います。

瀬戸特別支援学校
(現・萩山小学校)

スケジュールイメージ（予定）

	令和6年度		令和7年度		令和8年度			令和9年度		令和10年度		
	上半期	下半期	上半期	下半期	4月	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
八幡小	教育環境	校名・校章・校歌		通学路点検		新小学校 開校	合同授業・行事		新たな教育課程を編成 【教育課程特例校の指定申請】（予定）		新体育館 使用開始	
		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事			体育館の新設工事		現体育館の 解体工事		現体育館の 解体工事	
		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事			体育館の新設工事		現体育館の 解体工事		現体育館の 解体工事	
	校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		体育館の新設工事		現体育館の 解体工事		現体育館の 解体工事			
校舎	校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事	
体育館	校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事	
運動場・外構等	校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事	
光陵中	校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事	
萩山小	校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事		校舎の長寿命化改良工事	

※整備内容やスケジュールは予定であるため、予算の状況などにより変動する可能性があります。



菱野団地再生計画の目標達成状況

再生に向けた取組の推進により達成を図る目標を以下に示します。

(1) 成果指標と目標値

指標番号	分野	成果指標	基準値	実績値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
①	人口	総人口	13,113人 (平成27年)	10,523人	12,834人	居住の循環を図る施策を講じ、急激な人口減少に歯止めをかけ、第6次瀬戸市総合計画で目標としている将来人口と同様の推移を目指す。
		40歳未満人口の割合	33.5% (平成27年)	25.6%	33.5%以上	若い世代の流入を図る施策を講じて、人口構成の世代間バランスをとり、現状値以上を目指す。
③	住宅流通	戸建住宅の空き家率	2.6% (平成27年度)	0.91% (R2年度)	2.6%以下	戸建空き家の流通促進により、現状値以下を目指す。
④	交通	公共交通の人口カバー率	100% (平成30年度)	100%	100%	現状の人口カバー率の維持を目指す。
⑤	情報発信	ホームページへのアクセス件数	2,031件 (平成29年)	市HP 2,346件 菱野団地HP 16,104件 (令和5年)	10,000件以上	専用SNSの作成等により、現状のホームページアクセス数の約5倍の件数を目指す。
⑥	住みやすさ	菱野団地に対する満足度	3.07ポイント (平成29年度)	3.24ポイント※ (令和5年12月)	3.07ポイント以上	菱野団地にお住まいの方へのアンケートにおける菱野団地に対する18項目の満足度の平均値について、現状の満足度以上を目指す。
⑦	定住意向	居留意向	56.8% (平成29年度)	71.9%※ (令和5年12月)	81.7%	菱野団地にお住まいの方へのアンケートにおける居留意向について、第6次瀬戸市総合計画で目標としている指標値を目指す。

※ 自治会でのイベント等で団地内の居住者にアンケートを取ったもの(128人)

(2) R5年度の実績値

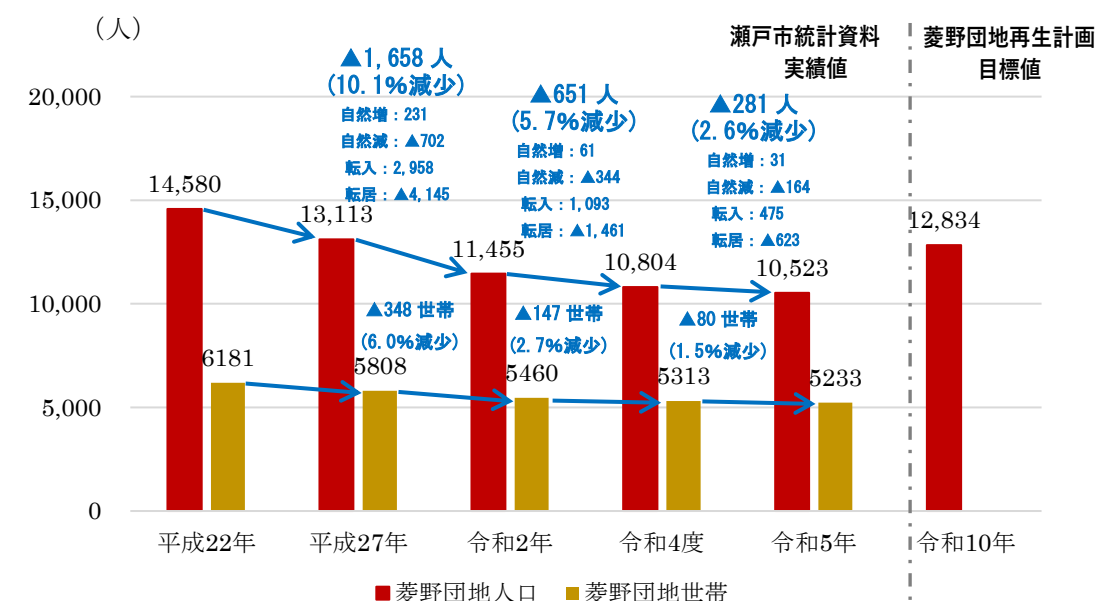
① 総人口・世帯数推移

総人口	平成22年	平成27年	令和2年	令和4年	令和5年
瀬戸市(全体)	133,450人	130,883人	129,131人	128,343人	127,568人
菱野団地	14,580人	13,113人	11,455人	10,804人	10,523人

世帯数	平成22年	平成27年	令和2年	令和4年	令和5年
瀬戸市(全体)	53,186世帯	54,040世帯	56,834世帯	57,744世帯	58,085世帯
菱野団地	6,181世帯	5,808世帯	5,460世帯	5,313世帯	5,233世帯

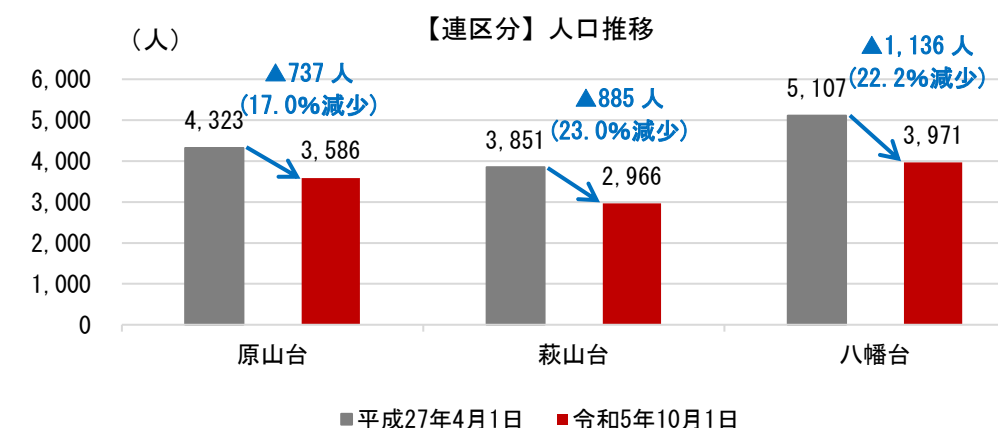
※各年10月1日住基台帳

菱野団地の総人口は、令和2年から令和5年にかけて932人(8.1%)減少している。また、世帯数についても令和2年から令和5年にかけて227世帯(4.2%)減少している。



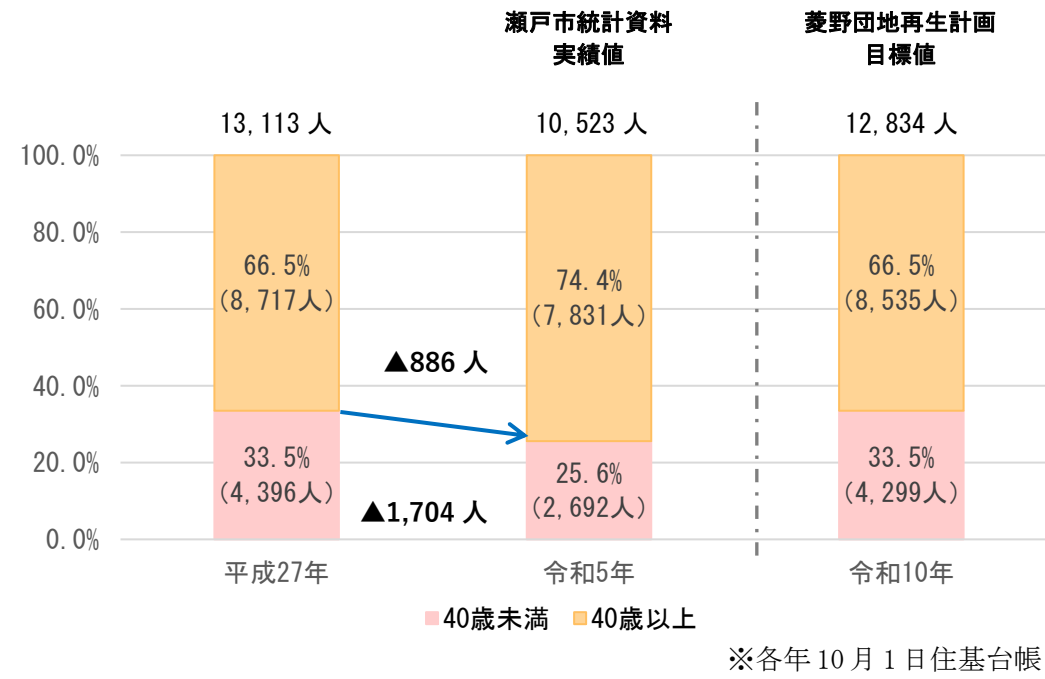
※各年10月1日住基台帳

連区別の人口推移を見ると、減少数は八幡台が1,136人と最も多く、減少率は萩山台が23.0%と最も高くなっている。

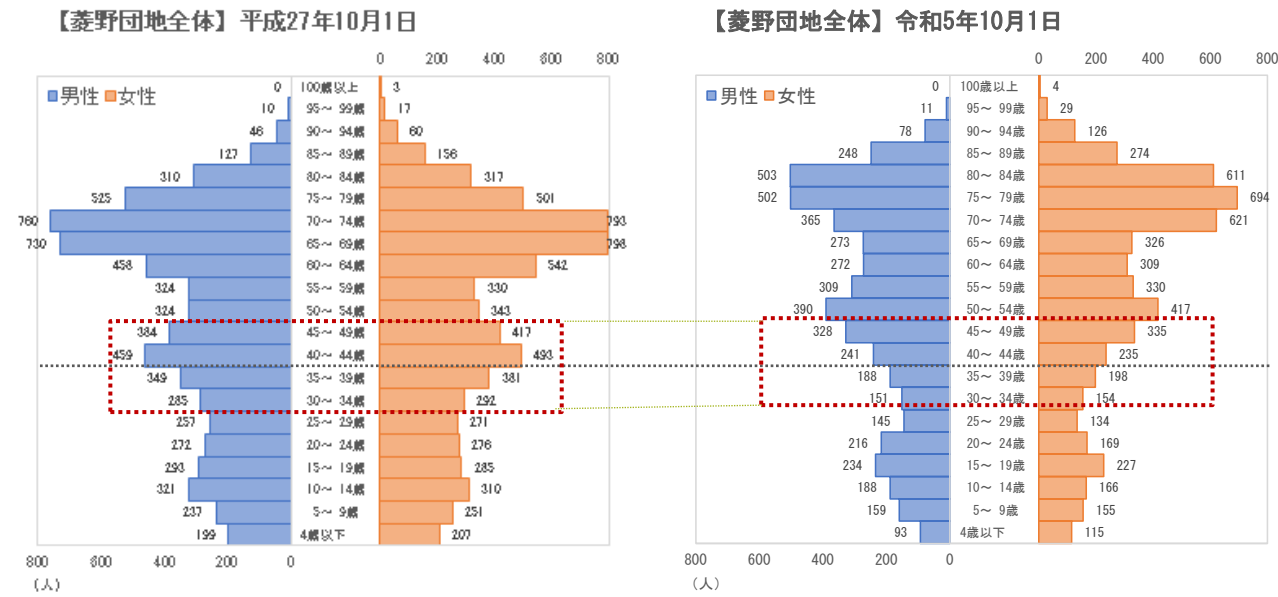


② 40歳未満人口の割合

総人口に占める40歳未満人口の割合は、平成27年から令和5年にかけて7.9%減少している。

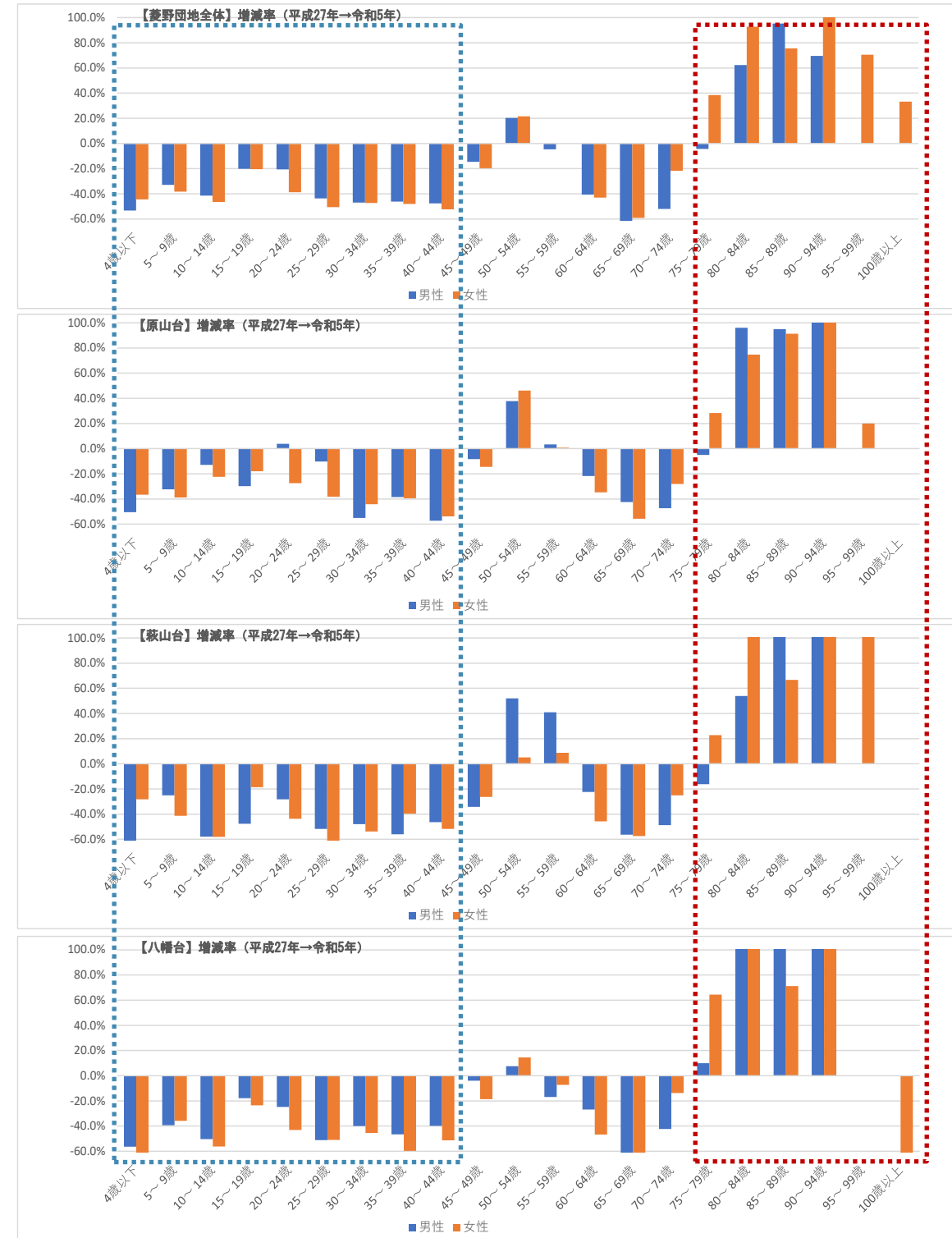


【菱野団地全体】性別・年齢別人口構成



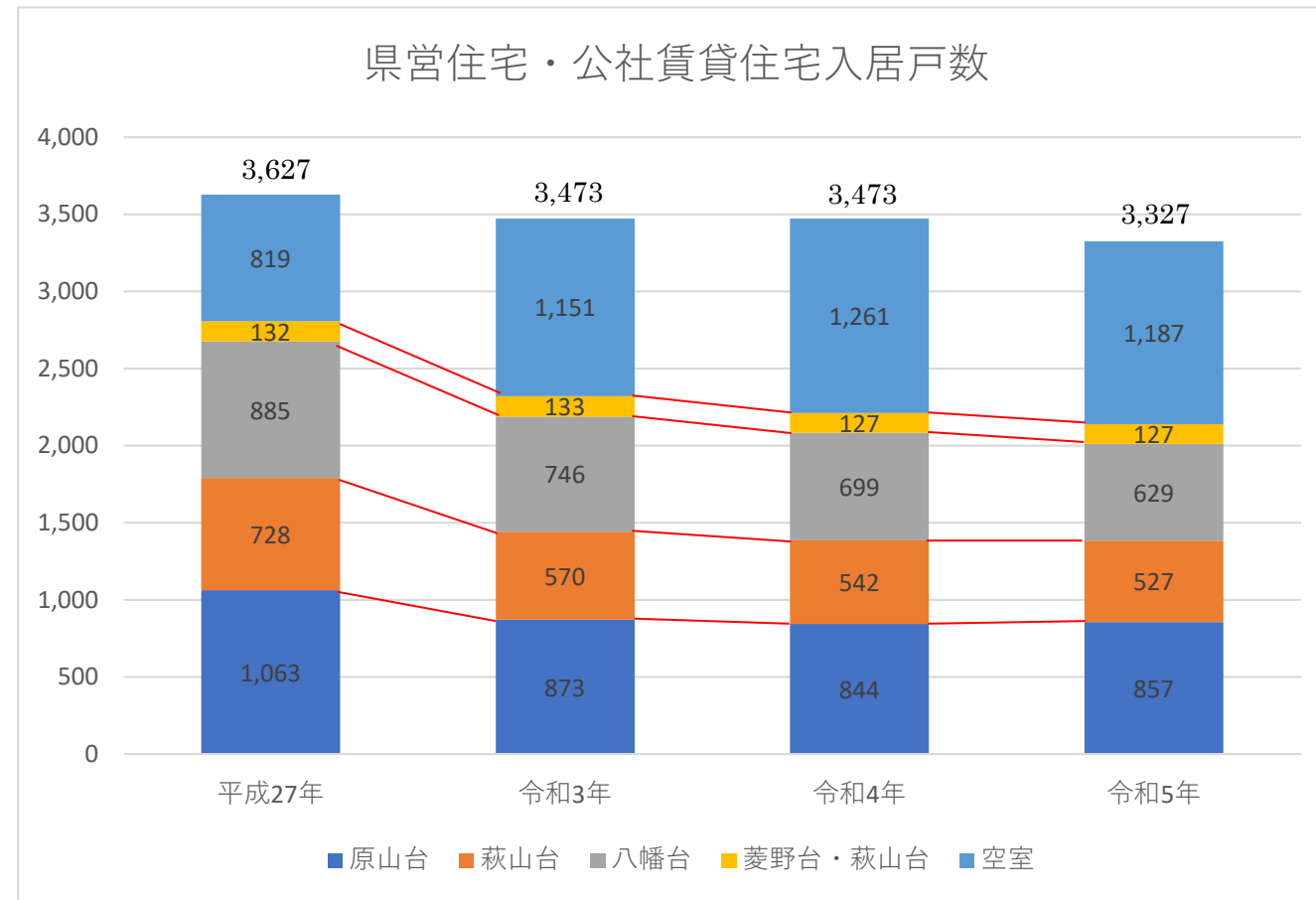
⇒整備から概ね50年となる菱野団地は、整備後の転入者やその子供世代となる年齢層の住民が団塊世代及び団塊ジュニア世代と重なり、割的に多く居住している。そのため、整備後から継続して居住している住民をはじめ全体的に高齢化が進み、10代以下の子供世代の増加がみられないことから少子高齢化の人口構成が年々顕著となっている。

性別・年齢別人口増減率



⇒全ての連区において、45歳未満の人口が減少している。一方、75~90歳は大きく増加しており、高齢化がより一層進んでいる。

③ 県営住宅及び公社賃貸住宅の管理戸数、入居戸数、空き戸数
 <県営住宅>



※各年 12 月時点 県営住宅：原山台・萩山台・八幡台 公社賃貸住宅：菱野台・萩山台
 管理戸数には一部募集停止中も含む。

④ 戸建住宅の空き家率（令和 2 年）

連区	調査結果			空き家率の 目標値 (令和 10 年)
	空き家と思われる 調査対象建物※1	調査対象建物※2	対象建物に対する 空き家と思われ る建物の割合	
原山台	20	1,679	1.19%	—
萩山台	12	1,574	0.76%	
八幡台	16	2,047	0.78%	
合計	48	5,300	0.91%	

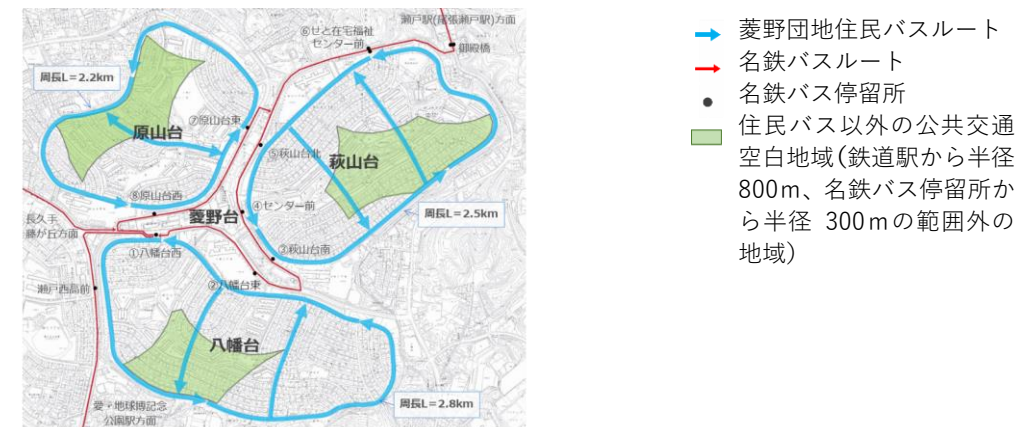
出典：瀬戸市空家等対策計画

- ※1 現地調査の結果、以下の条件に当てはまるものを抽出しています。
 ・郵便受けにチラシやDMが大量に詰まっている ・窓ガラスが割れたままになっている
 ・カーテン、家具等がない ・門から玄関まで草木が繁茂し出入りしている様子がない
 ・売り物件等の表示がある ・その他明らかに空家等と思われる状態のもの

※2 令和 2 年 12 月 8 日時点の住民基本台帳より算出

⑤ 公共交通の人口カバー率

菱野団地住民バスの運行継続により、公共交通の人口カバー率 100%を維持している。



住民バスの利用者数は、下記のとおりコロナ禍においても増加しており、団地内の生活交通としての役割を担っている。

通常運行便の集計	平成 30 年 8 月～12 月	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
利用者数	5,472 人	17,341 人	16,942 人	21,012 人	19,925 人	18,865 人
運行便数	960 便	2,440 便	2,240 便	2,430 便	2,410 便	2,430 便
1 便当たりの利用者数	5.70 人	7.11 人	7.56 人	8.65 人	8.26 人	7.76 人

⑥ ホームページ等へのアクセス件数等

菱野団地ホームページのアクセス件数は、令和 5 年 1 月から 12 月にかけては減少傾向にあるが、SNS については、フォロワー数の増加が見られ、情報収集に活用される媒体に変化が見られた。

媒体	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 10 年
市ホームページ	5,993 件	3,140 件	3,619 件	2,907 件	2,346 件	10,000 件以上
菱野団地ホームページ	2,430 件	10,189 件	20,937 件	21,521 件	16,104 件	
計	8,423 件	13,329 件	24,556 件	24,428 件	18,450 件	

その他情報発信媒体 集計結果		
みんなの会	(R6.1 時点)	フォロワー数 498 人、投稿数 54 件 (R5.1~R5.12)
Facebook	(R5.1 時点)	フォロワー数 434 人、投稿数 63 件 (R4.1~R4.12)
みんなの会	(R6.1 時点)	フォロワー数 471 人、累計投稿数 140 件
Instagram	(R5.1 時点)	フォロワー数 316 人、累計投稿数 109 件

世帯マイクロシミュレーションを用いた小学校廃校跡地の活用に関する研究

名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科
教授 鈴木 温 4年 岩瀬陸時

研究の背景

少子化による児童数の減少により、
毎年400校程度が廃校



跡地の活用方法が課題

校舎再利用の状況	校数
再利用	110(68%)
未利用	33(21%)
取り壊し	18(11%)
合計	161

(対象: 東海三県20年間に廃校となった161校)

再利用の用途	校数
社会体育施設	23(21%)
社会教育施設	21(19%)
他の学校	21(19%)
宿泊・住居施設	13(12%)
医療・福祉施設	8(7%)
倉庫	8(7%)
事務・研修施設	6(5%)
その他の施設	6(5%)
文化施設	4(4%)
合計	110

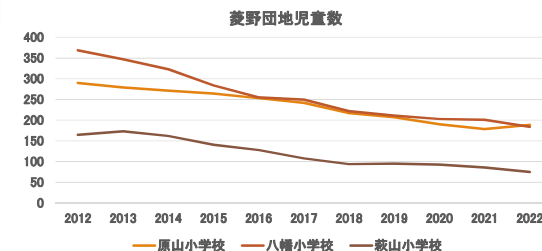
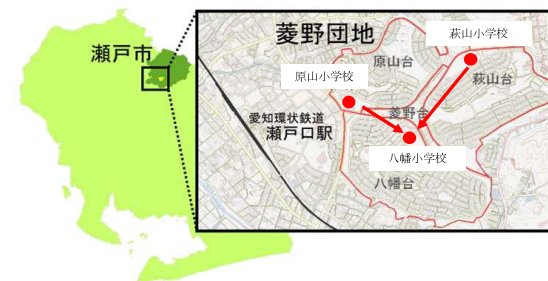
出典: 野沢・谷口ら(2013) 産校施設の建築の特徴と再利用時の改修工事に関する研究

既存研究と本研究の新規性

	研究手法	対象地域 対象校	研究目的	備考
佐藤・半田 (2021)	立地均衡 モデル	神崎町2小学校	統廃合の 最適時期評価	費用便益比
秦・浅野 (2021)	事例	26都市28計画	跡地活用に関する 都市再生事業の考察	事業用途・目的別分類
船瀬・松尾ら (2021)	事例	兵庫県2小学校	優良事例を捉え 今後の活用の検討	地域参画有無
植田・鈴木ら (2022)	世帯MS	瀬戸市菱野団地	跡地利用評価	校舎取壊しのみ (住宅・福祉施設)
本研究	世帯MS	瀬戸市菱野団地 原山小学校	跡地利用評価	校舎取壊し、 再利用 (住宅、 複合機能等)

対象地域: 瀬戸市菱野団地
対象小学校: 原山小学校

2026年に八幡小学校に統合
原山小学校の跡地が課題



研究の目的

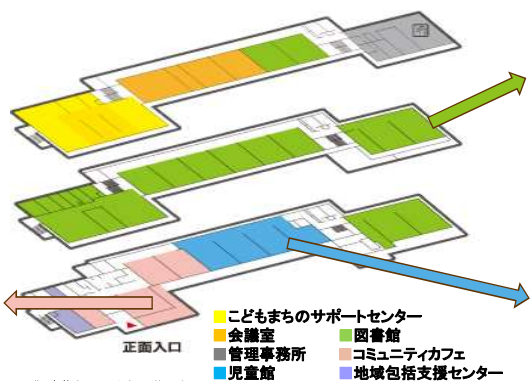
原山小学校跡地の望ましい利用方法を検討するため、
世帯マイクロシミュレーションを用いて跡地形態に応じた
将来の団地人口・世帯構成等进行评估
最適な施策を提案

研究の手順

1. 跡地利用の選択肢を検討するために、すでに廃校になった校舎のリノベーションを行ったグルッポふじとうの現地調査
2. 現在の原山小学校周辺の課題や住民のニーズを把握し、跡地利用案の検討のためWSに参加
3. 廃校跡地の活用案の検討
4. 跡地形態に応じた施設の影響を明確化
5. 跡地利用を考慮した将来時系列の都市内人口分布の変化を予測可能な世帯マイクロシミュレーションを用いて人口推移を評価し、最適な施策を選定

跡地利用の現地調査

- 調査日: 2023年8月1日(火)
- 場所: 高蔵寺ニュータウン「グルッポふじとう」
- (愛知県春日井市 藤山台東小学校跡地)
- 総工費5億6900万円



出典: 高蔵寺ニュータウン 施設案内

原山小学校周辺の現地調査・ワークショップ

原山小学校
設立年: 1970年
築年数: 53年
耐震: 30年
避難所: 体育館、グラウンド



実施日: 2023年10月8日(日)
参加者: 住民、名城大学、愛知工業大学、南山大学
WS意見

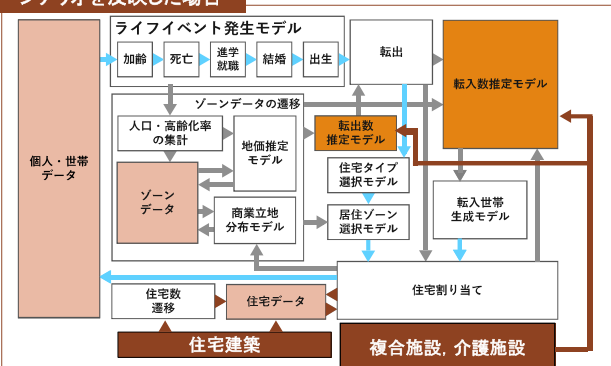
- 住民の活動の場・集まれる場所がない
- 菱野団地の歴史を伝える場所がない
- 路上駐車が多い
- 住宅の老朽化



世帯マイクロシミュレーション(HUMS)の基本構造

個人、世帯等を個々の単位で扱い、
将来の構造変化やゾーン別の人口等のデータが把握可能

シナリオを反映した場合



植田らの研究をベースに
転出数推定モデル・転入数推定モデル
に廃校跡地に関する説明変数を追加

廃校跡地利用施策が
人口推移への影響を評価が可能

赤ボックス: 入力データベース
橙ボックス: 改良部分
茶ボックス: シナリオ反映で変更部分

転出数推定モデル

目的変数: 転出数 (線形の重回帰モデル)

決定係数: 0.8517 ** : 1%有意

説明変数	パラメータ	t 値
高齢化率	-5.8463	-5.0752**
運動施設	32.4915	7.7856**
公園	14.8318	8.9762**
小型食料品店	8.7172	5.6191**
家電量販店	-40.8836	-6.5727**
ホームセンター	236.1704	11.2062**
大型総合商業施設	-126.2952	-9.8674**
カフェ	-12.1992	-3.9202**
公民館	98.3577	11.1957**
ドラッグストア	40.6375	14.3502**
図書館・学習室	-89.7507	-8.2715**
定数項	144.2798	3.3197**

転入数推定モデル

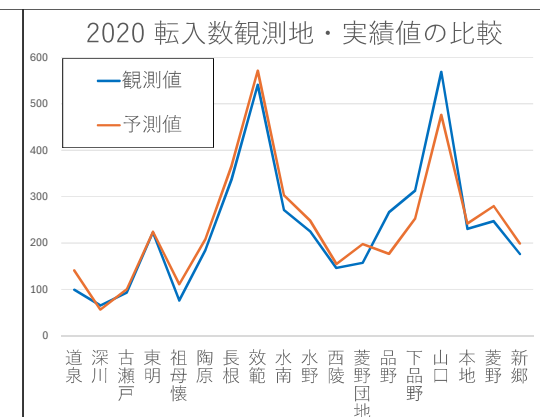
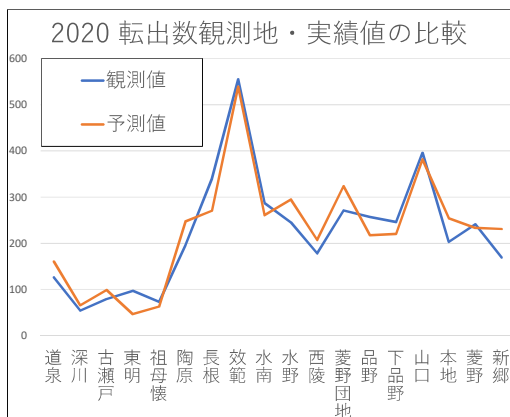
目的変数: 転入数 (線形の重回帰モデル)

決定係数: 0.8901 ** : 1%有意 * : 5%有意

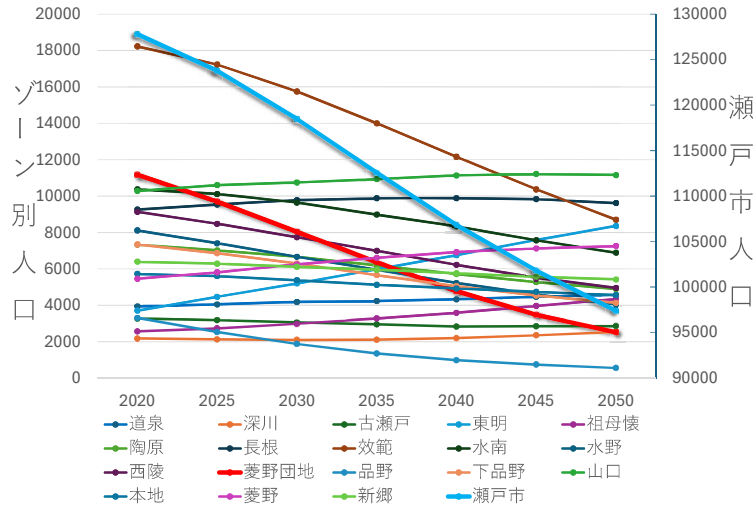
説明変数	パラメータ	t 値
転出数	0.7189	11.9264**
高齢者福祉施設	6.2100	6.8033**
運動施設	-13.7923	-4.6859**
観光施設	20.3445	3.3897**
公園	-3.8745	-2.9325**
住宅供給数	2.0488	5.4633**
小型食料品店	-8.6045	-5.6195**
ホームセンター	-38.0772	-2.9236**
大型総合商業施設	-23.3548	-2.0895*
子育て支援施設	7.8891	2.3345*
公民館	-83.1767	-8.1744**
定数項	127.6826	7.5852**

精度検証

概ね全体的な特徴を捉えた
大きな誤差が生じたゾーンを観測



現状の計算結果

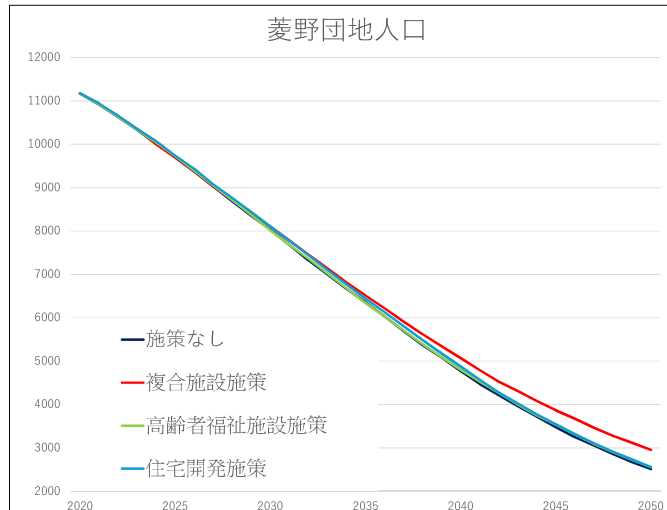


- 瀬戸市人口は減少傾向
- 菱野団地人口は強い減少傾向
- 宅地開発地域や中心部は増加傾向

研究のシナリオ

シナリオ	校舎状態	施策	備考	反映期間
0	現状	施策なし	—	—
1	校舎再利用	複合施設施策	図書館・学習室, 観光施設, カフェ, 子育て支援施設	2027年から
2	校舎再利用	高齢者福祉施設施策	高齢者福祉施設	2027年から
3	校舎取壊し	住宅開発施策	住宅を20軒建設	2027年のみ

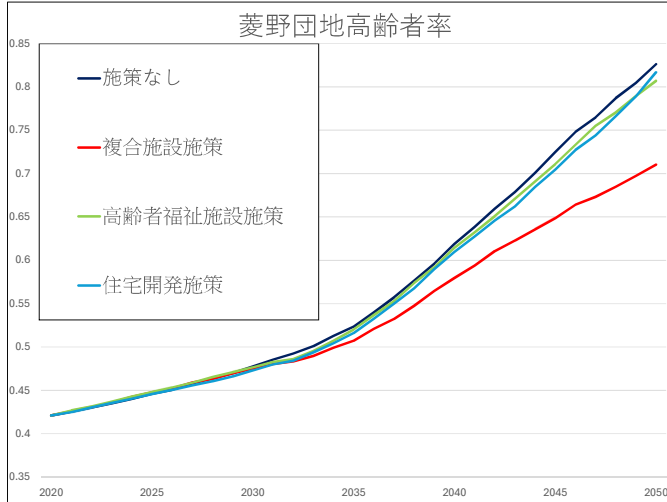
シナリオ別計算結果



施策なしと比較(2050年時点)

- 複合施設施策
450人程度増加
- 高齢者福祉施設施策
50人程度増加
- 住宅開発施策
40人程度増加

シナリオ別計算結果



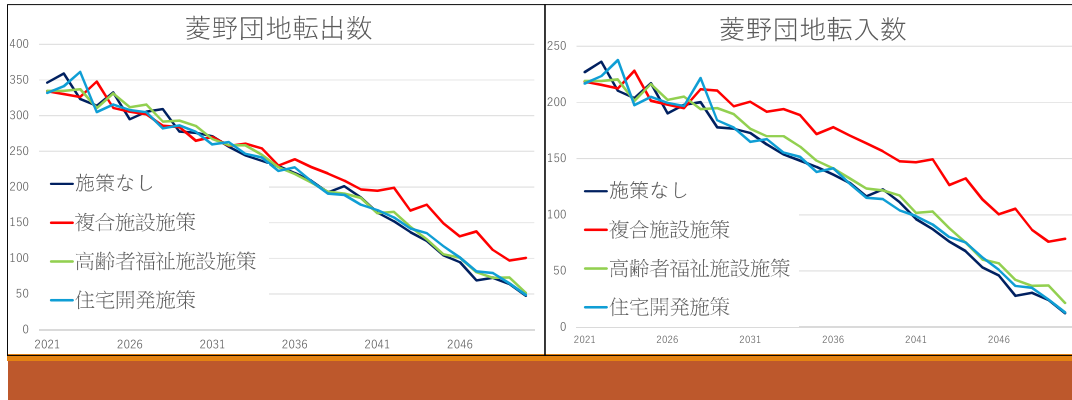
施策なしと比較(2050年時点)

- 複合施設施策
11%程度低下
- 高齢者福祉施設施策
2%程度低下
- 住宅開発施策
1%程度低下

シナリオ別 施策なしと比較(2050年時点)

計算結果

	転出数	転入数
複合施設施策	:50人程度増加	70人程度増加
高齢者福祉施設施策	:変化なし	10人程度増加
住宅開発施策	:変化なし	変化なし



シナリオ別計算結果

— 施策なし
 — 複合施設施策
 — 高齢者福祉施設施策
 — 住宅開発施策



まとめ

成果

- ・ 廃校跡地利用を考慮した世帯マイクロシミュレーション構築
- ・ 廃校跡地利用施策別人口等の比較・評価

施策別計算比較結果

- ・ 持続的な効果を持つ施策が優れている
 - ・ 施設効果を複合させることが効果的である
- ⇒ 複合施設施策が最適

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	瀬戸市における住み続けたい・住みたくなる快適な住宅団地の整備												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	瀬戸市												
計画の目標	瀬戸市菱野団地地区は、愛知県内でも有数の大型住宅団地として整備されたが、入居開始から40年以上が経過し、急激な人口減少、少子高齢化の進行をはじめ、多くの課題が存在している。そこで、平成31年3月に作成した「菱野団地再生計画」に基づき、既存ストックを活用して官民が連携しながら福祉、子育て、定住、交通、まちづくりなどの分野を横断したハード・ソフト両面のまちづくりに取り組み、再生の理念「みんなでつくる、住みよいまち 菱野団地」の実現を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	57	A	49	B	0	C	8	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	14.03	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4	R6
1	「住み続けたい」という住民の定住意向の向上を目指す(56.8%から67.5%へ増加) 居住意向に関するアンケート調査における「菱野団地に住み続けたい」と回答した人の割合 菱野団地に住み続けたいと回答した人の割合(%) = (菱野団地に住み続けたいと回答した人) / (アンケート回答者数)	56%	60%	68%
2	住宅団地における買い物や医療、教育などに関する満足度(住みやすさ)の向上を目指す(3.07ポイント以上へ増加) 住宅団地の満足度(住みやすさ)に関するアンケート調査における買い物や医療、教育など18項目の満足度を数値化したもの(最小1ポイント~最大5ポイント) 菱野団地に対する満足度(住みやすさ)(ポイント) = 買い物やすさ・医療施設の利用やすさ・教育施設の利便性など18項目の菱野団地の満足度の平均値(ポイント)	3ポイント	3ポイント	3ポイント
3	住宅団地の魅力やまちづくりの取組みなどのプロモーションの充実を図り、ホームページへの年間アクセス件数の増加を目指す(2,031件/年から7,000件/年へ増加) 菱野団地ホームページ(https://hishinodanchi.com/)への年間アクセス件数	2031件	5000件	7000件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	瀬戸市	直接	瀬戸市	-	-	菱野団地地区 住宅市街地総合整備事業(住宅団地ストック活用型)	整備計画作成、活動拠点整備、団体活動支援等、施行地区A=154.8ha	瀬戸市						49	-	-	
												小計						49		
											合計						49			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	瀬戸市	直接	瀬戸市	-	-	菱野団地住民バス運行事業	地域住民が主体となったバスの運行	瀬戸市						8	-	-	
		住民バス事業により地区内の移動手段の確保及びコミュニティの場の形成が図られるとともに、まちの活性化などの相乗効果が期待できる。																		
												小計						8		
											合計						8			

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
学識者や地域住民で構成される菱野団地再生計画推進協議会で、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施	中間年度終了後の令和5年度に実施
	公表の方法
	瀬戸市のホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	活動拠点・中央広場の整備及びエリアマネジメント団体による賑わいの創出により、計画開始時に比べ定住意向及び満足度の向上がみられた。 (定住意向 R2: 56% R4: 72%) (満足度 R2: 3.07ポイント R4: 3.24ポイント)
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	計画開始時に比べ、菱野団地住民バスの年間利用者数の増加がみられた。 (利用者数 R2: 16,942人 R4年19,925人)
特記事項(今後の方針等)	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中間 目標値	60%
	中間 実績値	72%
2	中間 目標値	3ポイント
	中間 実績値	3ポイント
3	中間 目標値	5000件
	中間 実績値	18450件